

GROUP GUIDE

阪急阪神ホールディングスグループ **2021**



阪急阪神ホールディングス株式会社
<https://www.hankyu-hanshin.co.jp/>

使命

私たちは何のために集い、何をめざすのか

「安心・快適」、そして「夢・感動」をお届けすることで、お客様の喜びを実現し、社会に貢献します。

価値観

私たちは何を大切に考えるのか

1 お客様原点

すべてはお客様のために。これが私たちの原点です。

2 誠実

誠実であり続けることから、私たちへの信頼が生まれます。

3 先見性・創造性

時代を先取りする精神と柔軟な発想が、新たな価値を創ります。

4 人の尊重

事業にたずさわる一人ひとりが、かけがえのない財産です。

行動規範

「価値観」を守り、「使命」を果たしていくために、私たちはどのように行動するのか

1 私たちは、出会いを大切にし、お客様の立場に立って最善を尽くします。

2 私たちは、法令遵守はもとより、社会的責任を自覚して行動します。

3 私たちは、仕事に責任と誇りを持ち、迅速にやり遂げます。

4 私たちは、目先のことにとらわれず、中長期的な視点で考えます。

5 私たちは、現状に満足することなく、時代の先を見据えて取り組みます。

6 私たちは、思いやりの心を持ち、お互いを認め合います。

7 私たちは、活発にコミュニケーションを行い、風通しのよい職場をつくります。

8 私たちは、グループ全体の発展のために力を合わせます。

阪急阪神ホールディングスグループは、2006年10月に阪急ホールディングスと阪神電気鉄道との経営統合によって誕生しました。それ以降、阪急阪神が力を合わせて各事業の競争力を高めるとともに、グループ総合力を発揮することにより、グループ全体の収益力の向上や利益の伸長を図り、並行して財務体質の改善にも取り組み、着実に成果を挙げてきました。

そうした中、2017年には、これからの変わりゆく社会においても成長する企業グループとなることを目指して、「阪急阪神ホールディングスグループ 長期ビジョン2025」を策定し、グループを挙げて、長期ビジョンの戦略に則った施策を推し進めてまいりました。しかしながら、新型コロナウイルスの発生を契機に、例えば、在宅勤務の普及等に伴う移動の減少や、デジタルの世界の台頭など、当社グループを取り巻く事業環境は急速に変わってきております。そのため、これからの時代は、「コロナ禍を契機とした人々の行動変容」や「デジタル化の進展に伴うDX（デジタルトランスフォーメーション）への取組」、「働き方改革の本格化」、「カーボンニュートラルへの対応をはじめとするSDGs（持続可能な開発目標）の取組」など、上記の長期ビジョンの策定以降に生じている環境の変化にきちんと対応していくことが不可欠となります。そうしたことを踏まえ、今後は、ニューノーマル時代を見据えながら経営を推進し、持続的な成長を図ってまいります。

また、当社グループでは、持続可能な社会の実現に向け、今後の取組の方向性を示すものとして、2020年5月に「阪急阪神ホールディングスグループ サステナビリティ宣言」を発表しました。これからも、同宣言に基づいてサステナブル経営を推進し、グループのESG（環境・社会・企業統治）に関する取組をさらに加速させるとともに、事業を通じて社会課題の解決に努め、持続的な企業価値の向上を目指してまいります。

今後も、グループ経営理念を実現すべく、お客様や地域社会等との信頼関係を構築しながらグループ全体の成長を推し進め、関係する皆様方のご期待に応えられるようグループ一丸となって取り組んでまいりますので、これからもご愛顧とともに一層のご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

2021年7月



阪急阪神ホールディングス株式会社

代表取締役会長 グループCEO 角 和夫

代表取締役社長 杉山 健博

グループのあゆみ

阪急

- 1907 〉箕面有馬電気軌道(株)(現 阪急電鉄(株))を創立
- 1910 〉鉄道の営業を開始
(宝塚本線 [梅田-宝塚]、箕面線 [石橋-箕面])
〉土地建物分譲事業を開始(「池田室町住宅地」売出開始)
- 1913 〉宝塚唱歌隊(後の宝塚歌劇団)を結成
- 1914 〉宝塚歌劇の第一回公演を実施
- 1926 〉旧 宝塚ホテルが開業
(2020年3月営業終了、同年6月移転開業)
- 1929 〉梅田阪急ビルが竣工
(東洋初のターミナルデパート
「阪急百貨店」が営業を開始)
- 1947 〉百貨店部門とこれに付帯する事業を分離し、
(株)阪急百貨店を設立
- 1948 〉航空代理店業を開始
(パン・アメリカン航空会社と日本で
初めて代理店契約を締結)
〉わが国初のIATA航空貨物
取扱代理店の認可を取得
- 1952 〉阪急不動産(株)(現 阪急阪神不動産(株))を設立
- 1960 〉(株)阪急国際交通社(現 (株)阪急交通社)を設立
- 2004 〉不動産投資信託(REIT)事業へ参入



2006 阪急阪神ホールディングス(株)が発足

- 2007 〉阪急・阪神共通の新グループカード「STACIA」の発行を開始
- 2008 〉(株)阪急阪神ホテルズを設立
(株)阪急ホテルマネジメント、(株)ホテル阪神および
ホテル阪神レストラン・システムズ(株)の3社が合併し、商号を変更)
〉(株)阪急エクスプレスを設立(株)阪急交通社の国際輸送部門を
(株)阪急エクスプレスに分社化)
- 2009 〉(株)阪急阪神エクスプレスを設立
(株)阪急エクスプレスと阪神エアカーゴ(株)が合併し、商号を変更)
- 2018 〉阪急阪神不動産(株)を設立
(阪急電鉄(株)および阪神電気鉄道(株)の不動産事業を
阪急不動産(株)に移管し、同社の商号を変更)

阪神

- 1899 〉摂津電気鉄道(株)(現 阪神電気鉄道(株))を創立
- 1905 〉鉄道の営業を開始(神戸 [三宮]-大阪 [出入橋])
- 1909 〉土地建物賃貸業を開始(西宮停留所前に貸家30戸完成)
- 1924 〉甲子園球場
(後に阪神甲子園球場
と改称)を開設
- 1933 〉阪神マートが梅田停留所に開業
(ターミナルでの小売業に本格的に進出)(1941年9月閉鎖)
〉三宮阪神ビルが完成
(神戸そごうに賃貸、
ビル賃貸事業へ
本格的に進出)
- 1935 〉(株)大阪野球倶楽部
(大阪タイガース、後の(株)阪神タイガース)を設立
- 1937 〉六甲山での事業を開始(六甲山カンツリーハウスを開設)
- 1940 〉阪神マート(後に阪神百貨店と改称、
現在の阪神梅田本店)が開業
- 1948 〉航空代理店業を開始
- 1950 〉IATA航空貨物取扱代理店の認可を取得
- 1967 〉ホテル阪神(現 ホテル阪神大阪)の営業を開始
- 1991 〉都市型CATV局チャンネルウェブあまがさが開局
- 2006 〉「ビルボード」マスターライセンス契約を締結



グループの概要

私たちは、人々の暮らしを支え、暮らしを彩り、
豊かなライフスタイルを提案する企業グループです。

阪急阪神ホールディングスグループは、鉄道事業をベースに住宅・商業施設等の開発から阪神タイガースや宝塚歌劇など魅力溢れるエンタテインメントの提供に至るまで、多岐にわたる分野において、それまでになかったサービスを次々と提供することにより、沿線をはじめ良質な「まちづくり」に貢献するとともに、社会に新風を吹き込み、100年以上の長い歴史の中で数々の足跡を残してきました。そして、これらの活動等を通じて、暮らしを支える「安心や快適」、暮らしを彩る「夢や感動」を絶えずお客様にお届けしてきました。私たちは、これからも、培ってきたブランドやまちづくりのノウハウを活かし、グループ一丸となって良質なサービスを提供していきます。

顧客満足度調査



阪急電鉄は、近郊鉄道の部門(業種)において、2009~2020年まで12年連続で1位を獲得。
宝塚歌劇団も、2018年度に、全36業種422企業・ブランドの中から総合ランキング1位を獲得するなど、高い評価を得ています。

※顧客満足度調査「JCSI(日本版顧客満足度指数:Japanese Customer Satisfaction Index)」は、公益財団法人日本生産性本部 サービス産業生産性協議会が実施している日本最大級の顧客満足度調査で、総計13万人以上の利用者からの回答をもとに、統計的な手法により企業・ブランドを評価するものです。

住んでみたい街アンケート(関西圏)

当社グループの沿線は、関西主要都市を結ぶ利便性に加え、生活インフラが充実していることから、住んでみたい街として人気の高いエリアとなっています。沿線価値の創造力は、私たちの強みの1つです。

1位	西宮北口
2位	夙川
3位	梅田・大阪
4位	岡本
5位	御影

※MAJOR7(大手不動産会社7社)による調査(2020年9月)

コア事業と中核会社

当社グループでは「都市交通」「不動産」「エンタテインメント」「情報・通信」「旅行」「国際輸送」「ホテル」の7つの事業領域をコア事業と位置付けています。また、グループ経営機能を担う当社の下、阪急電鉄、阪神電気鉄道、阪急阪神不動産、阪急交通社、阪急阪神エクスプレス、阪急阪神ホテルズの6社を中核会社として、グループ全体の有機的な成長を目指しています。

コア事業推進体制



※梅田・沿線エリアでは、阪急電鉄および阪神電気鉄道が賃貸・開発用不動産を保有しながら、阪急阪神不動産と協働して、交通ネットワークや地元自治体などと連携したまちづくりを推進しています

(2021年4月1日現在)

連結業績の推移

	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度
営業収益(億円)	7,368	7,603	7,914	7,627	5,689
営業利益(億円)	1,041	1,052	1,149	952	21

2020年度は、都市交通事業をはじめ、ホテル事業、エンタテインメント事業、不動産事業、旅行事業など、多くの事業で新型コロナウイルスの影響を大きく受けたため、大幅に減収・減益となりました。

阪急阪神ホールディングスグループ サステナビリティ宣言

当社グループでは、持続可能な社会の実現に向け、今後の取組の方向性を示すものとして、2020年5月に「阪急阪神ホールディングスグループ サステナビリティ宣言」を策定しました。

基本方針

～暮らしを支える「安心・快適」、暮らしを彩る「夢・感動」を、未来へ～

私たちは、100年以上積み重ねてきた「まちづくり」「ひとづくり」を未来へつなぎ、地球環境をはじめとする社会課題の解決に主体的に関わりながら、すべての人々が豊かさ喜びを実感でき、次世代が夢を持って成長できる社会の実現に貢献します。

重要テーマ(マテリアリティ) サステナブル経営を進める上で、重きを置く6つのテーマ

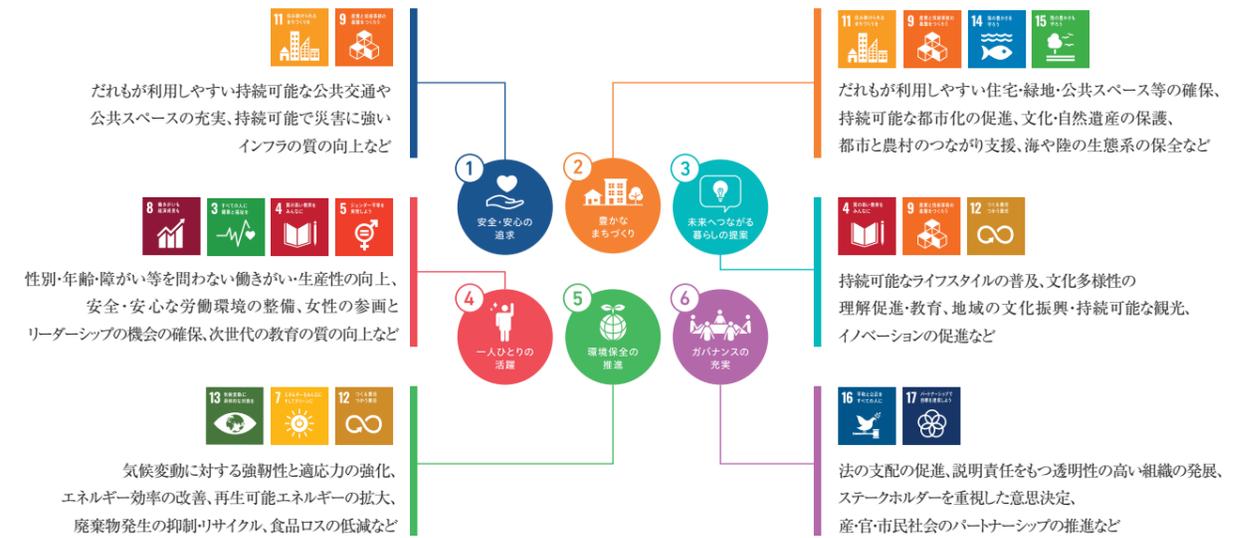
<p>1 安全・安心の追求</p> <p>鉄道をはじめ、安全で災害に強いインフラの構築を目指すとともに、誰もが安心して利用できる施設・サービスを日々追求していきます。</p>	<p>2 豊かなまちづくり</p> <p>自然や文化と共に、人々がいきいきと集い働き住み続けたいくなるまちづくりを進めます。</p>	<p>3 未来へつながる暮らしの提案</p> <p>未来志向のライフスタイルを提案し、日々の暮らしに快適さと感動を創出します。</p>
<p>4 一人ひとりの活躍</p> <p>多様な個性や能力を最大限に発揮できる企業風土を醸成するとともに、広く社会の次世代の育成にも取り組みます。</p>	<p>5 環境保全の推進</p> <p>低炭素社会や循環型社会に資する環境保全活動を推進します。</p>	<p>6 ガバナンスの充実</p> <p>すべてのステークホルダーの期待に応え、誠実に公正なガバナンスを徹底します。</p>

主な非財務の指標

- 鉄道事業における有責事故ゼロ
- 従業員満足度：継続的に前回調査*を上回る
- 女性管理職比率：2030年度に10%程度まで向上
- 新規採用者に占める女性比率：30%以上を継続
- 特定保健指導実施率：2025年度に60%以上
- 喫煙率：2025年度に15%以下
- 男性の育児休業取得率：2025年度に100%
- CO₂排出量の削減率(2030年度目標2013年度比)：
 - ・当社および子会社の国内事業所における排出量を26%削減
 - ・阪急電鉄および阪神電気鉄道の鉄道事業における電力使用に伴う排出量を40%削減

* 2年に一度実施

当社グループの重要テーマと関連するSDGs



外部からの評価

第4回ジャパンSDGsアワード SDGsパートナーシップ賞(特別賞)の受賞

阪急電鉄と阪神電気鉄道の取り組み「SDGsトレイン 未来のゆめ・まち号」が評価され、阪急阪神ホールディングスが外務省の「第4回ジャパンSDGsアワード」のSDGsパートナーシップ賞(特別賞)を受賞しました。



令和2年度 青少年の体験活動推進企業表彰 文部科学大臣賞(最優秀賞)の受賞

当社グループが主催する小学生向けの体験学習プログラム「阪急阪神ゆめ・まちチャレンジ隊」と、阪急電鉄が主催する小学校への出張授業「阪急ゆめ・まち わくわくWORKプログラム」が評価され、当社グループが「青少年の体験活動推進企業表彰」の文部科学大臣賞(最優秀賞)を受賞しました。



阪急阪神 未来のゆめ・まちプロジェクト

当社グループは、100年以上の長きにわたり、阪急阪神沿線を中心とした地域社会に生まれ、信頼関係を築いてきました。これからの100年も、この地域社会の一員として歩んでいくために、2009年4月より、グループの社会貢献活動「阪急阪神 未来のゆめ・まちプロジェクト」を推進しています。

基本方針 阪急阪神沿線を中心に、私たち一人ひとりが関わる地域において、「未来にわたり住みたいまち」をつくることを目指します。

重点領域



地域に密着した事業を行ってきたグループとして、地域コミュニティが安全・安心かつ文化的で、環境に配慮しながら発展する、持続可能なまちづくりに取り組みます。



未来の地域社会を担う人材である子どもたちが、夢を持って健やかに成長する機会を創出します。



私たちは、未来へつなぐ「地域環境づくり」と「次世代の育成」に貢献します。



都市交通事業 Urban Transportation

鉄道・バス・タクシーが連携して、安全・安心・快適で多彩な輸送サービスを提供

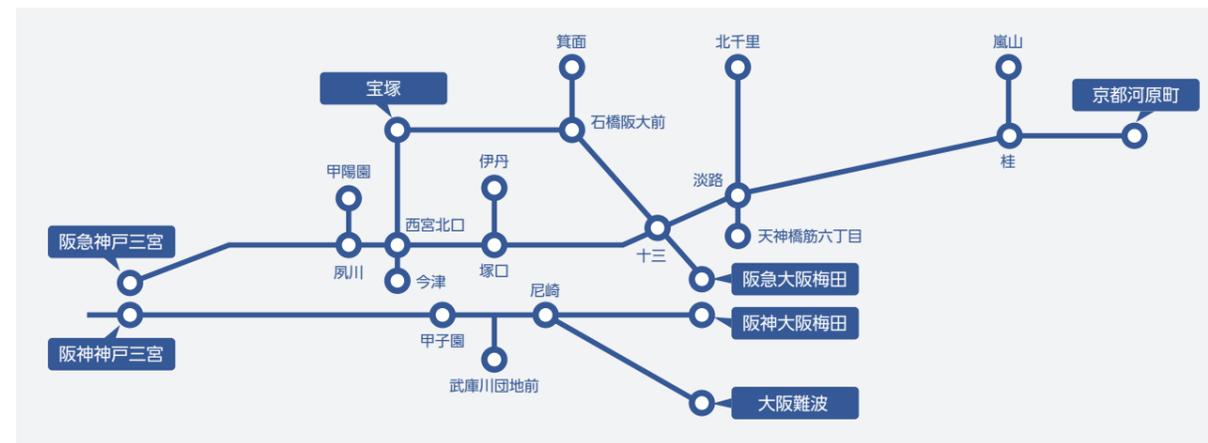
阪急電鉄と阪神電気鉄道の2社を中心に、鉄道・バス・タクシーなどが連携して、京阪神を中心とした関西圏における一大ネットワークを形成しています。交通広告と駅ナカを中心に物販施設を展開する流通部門を一体的に運営し、相乗効果を発揮することで、沿線の新たな価値創造にも取り組んでいます。



鉄道

京阪神を中心とした関西圏の大動脈として、一大ネットワークを形成

大阪梅田と、神戸・宝塚・京都を結ぶ阪急電鉄。私鉄で唯一、大阪梅田(キタ)と大阪難波(ミナミ)に乗り入れる阪神電気鉄道。この2社を中心に、社会を支える鉄道インフラとして関西圏で鉄道ネットワークを形成し、安全・安心・快適に、利用しやすい鉄道サービスを提供しています。



バス・タクシー

鉄道と連携し、阪急・阪神沿線を中心にバス・タクシーを運行

阪急バス・阪神バスでは、路線バスのリアルタイムな運行状況などを検索できるバスロケーションサービスを提供するほか、ハウスICカード乗車券「hanica」を導入するなど、お客様の利便性向上に努めています。阪急タクシー・阪神タクシーでは、各種電子決済を取り扱うなど、多様化する決済ニーズに対応。環境への配慮からエコドライブの推進にも取り組んでいます。



流通

駅ナカを中心に小売サービスを展開

阪急・阪神沿線を中心に、化粧品・服飾雑貨店「カラーフィールド」や家具・インテリア雑貨店「ダブルデイ」のほか、食品スーパー「成城石井」のフランチャイズ店舗などを展開しています。また、外部パートナー企業と提携して幅広く小売サービスを提供することで、お客様の利便性向上に努めています。



交通広告

交通広告のもつ情報発信力を自在に活用

電車内・ターミナル・コンコースからデジタルサイネージまで幅広く取り扱い、お客様に“価値ある空間”を提供しています。また、流通事業がもつお客様やメーカーとの接点と、交通広告事業がもつ情報発信力を活かし、店頭での商品販売に交通広告媒体やイベントスペースを活用したPR等も行っています。





不動産事業 Real Estate

魅力あるまちづくりへの貢献と 豊かなライフスタイルの提案

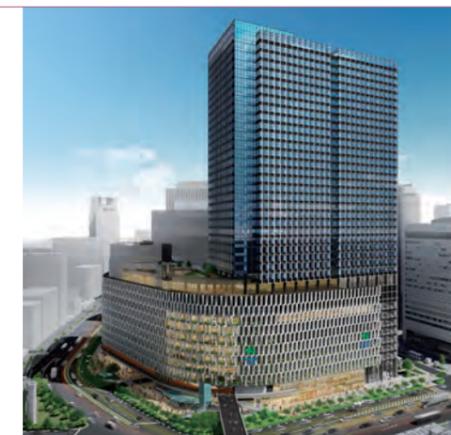
創業期から魅力あふれる沿線づくり・まちづくりにこだわり、都市交通事業と共に成長を続けてきた不動産事業。まちに賑わいをもたらす商業施設やオフィスビルの開発・賃貸・運営管理、そしてライフスタイルにフィットした上質な住まいの提供。さらには不動産と金融の融合を実現する不動産ファンド事業。「まちづくり」のDNAを受け継ぐ者たちが描く未来図は、さまざまな形で実を結んでいます。



開発

まちに賑わいをもたらす さまざまな開発プロジェクトを推進

大阪梅田においては、2022年の全体竣工に向けて「梅田1丁目1番地計画」(ビル名称:大阪梅田ツインタワーズ・サウス)を着実に進めています。また、2024年夏頃の先行まちびらき(一部民間宅地および一部都市公園)および2027年度のうめきた2期地区全体開業を目指して「(仮称)うめきた2期地区開発事業」を推進しています。さらに、阪急西宮北口駅南東エリアにおいて、2023年9月の開業を目指して「(仮称)阪急西宮ガーデンズ西側土地開発計画」を進めているほか、首都圏においても、東京都心5区を中心にさまざまな開発プロジェクトに取り組んでいます。



大阪梅田ツインタワーズ・サウス(イメージ)

賃貸

数多くの商業施設・オフィスビルを保有・管理し、魅力あるまちづくりに貢献

梅田阪急ビル、グランフロント大阪、ハービスOSAKA・ハービスENT、阪急西宮ガーデンズなど、大阪梅田や阪急・阪神沿線を中心に、数多くの商業施設・オフィスビルを保有。賃貸可能面積は合計で約200万㎡*に上ります。グループ内の主要ショッピングセンターで利用できる「阪急阪神おでかけカード」のサービスなどを通じ、競争力の強化と稼働率の維持向上などに取り組んでいます。

*2021年3月末現在



ハービスENT



阪急西宮ガーデンズ

分譲

「ジオ」ブランドの分譲を中心にお客様の夢をかなえる住まいを提案

お客様の視点で品と質にこだわり、時を経るごとに愛着を感じていただける住まいづくりを目指す「ジオ」ブランドのマンション。加えて、新たな戸建ブランドとして「ジオガーデン」が誕生。これらを中心に、お客様の夢をかなえる住まいをご提案しています。



ジオ北千里藤白台



ジオガーデン彩都箕面

海外事業

ASEAN各国へ進出

国内での実績を活かし、タイ・ベトナム・フィリピン・インドネシア・マレーシアの5カ国で、約3万戸*の住宅分譲プロジェクトに参画しており、今後も海外における不動産分譲事業の拡大を目指しています。また、インドネシアにおいて、海外での不動産賃貸事業に本格的に参入。同国を代表する商業・オフィス・ホテルからなる複合施設「プラザインドネシアコンプレックス」と、劇場・映画館などが入居する商業施設「fXスタイルマン」を保有する現地事業体に出資し、事業運営に積極的に関わっています。

*2021年7月現在



ニッチ モノ スクピット ベアリング(タイ)



プラザインドネシアコンプレックス



エンタテインメント事業 Entertainment

人々を魅了する「夢」と「感動」をプロデュース

全国の熱狂的なファンに支持される阪神タイガースと阪神甲子園球場、そして、「清く 正しく 美しく」を理念として歴史を刻み続ける宝塚歌劇。当社グループ固有の強みであるスポーツ事業とステージ事業をはじめ、多彩なライブエンタテインメントを提供し、お客様の暮らしを彩っています。



スポーツ

阪神タイガース



プロ野球の中でトップクラスの観客動員数を誇り、2020年に85周年を迎えた歴史と伝統の人気球団。観客を魅了する選手たちのプレーは、日本の野球界発展に寄与し続けています。



阪神甲子園球場

阪神タイガースのホームグラウンドや、高校野球の舞台として知られるほか、全日本大学アメリカンフットボール選手権大会の決勝戦をはじめとする大型イベントの会場にもなっています。2024年の開業100周年にむけて、その歴史と魅力を色あせることなく発信し続けていきます。



ステージ

宝塚歌劇



世界でも数少ない女性だけの劇団として、お客様を夢と感動のステージへと誘う宝塚歌劇団。1914年の第一回公演から100年を超える歴史が綴られてきました。宝塚大劇場・東京宝塚劇場での通年公演や全国各地での公演に加え、これまで計18の国と地域・計27回*の海外公演も実施し、高い評価をいただいています。また、専門チャンネル「TAKARAZUKA SKY STAGE」やインターネットを通じた映像・音楽の配信、映画館でのライブ中継など、多方面へのメディア展開も行っています。

*2021年7月現在



梅田芸術劇場

1,905席のメインホールと898席のシアター・ドラマシティの2つの劇場を運営し、演劇やミュージカル、コンサート、宝塚歌劇などの多彩な公演を上演しています。



音楽

ビルボード

100年以上の歴史を持ち、世界で最も信頼される音楽ブランドである“ビルボード”。2006年に日本におけるライセンス契約を締結し、クラブ事業をはじめ多角的に展開しています。



レジャー

六甲山

六甲山は、日本有数の夜景が見られる人気のスポット。日本最大級のアスレチックをはじめ、スキー場や植物園、展望台、ミュージアムなど多彩なレジャー施設を展開しています。また、六甲山の自然・眺望と現代アート作品を組み合わせた展覧会「六甲ミーツ・アート芸術散歩」も好評を博しています。





情報・通信事業 Information and Communication Technology

情報・通信技術の活用を通して、 社会の発展に貢献

社会インフラに関するシステム開発や、Eコマース（電子商取引）サイトの構築・保守などの情報サービス事業、テレビ・インターネット・電話の各サービスを中心とした地域密着型の放送・通信事業、さらには、セキュリティサービスや、プログラミング教育といったあんしん・教育事業を通じて、高度情報化社会のビジネスをサポートするとともに、日々の暮らしに安心・快適をお届けしています。



情報サービス

アイテック阪急阪神

EコマースやWeb制作などのインターネットビジネスに加え、長年培ってきた鉄道やビルなどの社会インフラに関するシステム開発を幅広く行っています。また、臨床検査・健診・健康経営などの医療分野のソリューションや高品質なソフトウェア開発などの受託サービスも展開。生活に関わる安心と快適をお届けし、さらなるソリューション強化による全国規模の拡大を目指しています。



放送・通信

ベイ・コミュニケーションズ(Baycom)、 姫路ケーブルテレビ(WINK)、 BAN-BANネットワークス

沿線地域を中心に、テレビ・インターネット・電話を快適にご利用いただける情報インフラを提供。最近では、ハイスピークな光インターネットサービスや、高速無線インターネットをご利用いただけるようになったほか、地域に密着したオリジナル番組（コミュニティチャンネル）の制作にも力を入れています。



あんしん

ミマモルメ



無線ICタグを持った子どもが学校の校門を通過すると、保護者にメール通知が届く「ミマモルメ」と、このシステムを応用し、自治体が設置した見守りカメラが子どもや高齢者などの見守り対象者の位置情報を通知する「まちなかミマモルメ」により、安全・安心に暮らせるまちづくりに貢献しています。



教育

プログラボ



子ども向けロボットプログラミング教室「プログラボ」は、STEAM教育[※]に基づくカリキュラムで、論理的思考力や問題解決力、創造力など、未来を担う子どもたちの「夢を実現するチカラ」を育みます。生徒数は約6,000名。学校での出張・課外授業にも取り組んでいます。

[※]Science(科学)・Technology(技術)・Engineering(工学)・Art(教養・芸術)・Mathematics(数学)を総合的に学ぶ教育手法





旅行事業 Travel

お客様の声に応える安心・安全の旅を創出

1948年の創業以来、常に「お客様目線」を大切にし、長年培ったノウハウを活かし多様化するニーズに応じてまいりました。

旅行商品の企画力・提案力を研さんし、品質の精度向上に努めニューノーマル時代に対応した安心・安全の新たな旅を提供していきます。



海外旅行・国内旅行

5つのブランド展開で、お客様に「心に届く旅」を提供

心に届く旅
阪急交通社
 Direct to your heart

行きたい旅、見つかる。



旅、あなたにふさわしく



ともに、感動。深まる。



見つけた! 私だけの旅



「思いどおりの旅」という贅沢を。



添乗員付きツアーを中心に全世界を舞台とした旅行事業を展開。基幹ブランド「トラピックス」をはじめ、ゆとりの旅の「クリスタルハート」「阪神航空フレンドツアー」、自由な旅の「e-very」、思い通りの贅沢をかなえる「ロイヤルコレクション」の多彩な5ブランドを、新聞広告や情報誌、Web、テレビ通販とCMなどのメディアを通じて、販売しています。また、クルーズ旅行、「クリスタルクルーザー『堇』(すみれ)」を利用した国内のこだわりバス旅行、ハイキング、着地型旅行など多様化するニーズに応える新たな旅の創造にも注力しています。



団体旅行

団体旅行のさまざまなご要望に対応

企業・法人向けに、視察旅行や報奨旅行、研修旅行、イベント・コンベンションといった団体旅行や、修学旅行などの教育旅行を企画、提案。長年にわたって培った経験と知識を活かし、お客様の多様なニーズにお応えします。



業務渡航

安心・快適なビジネス旅行をサポート

全世界の航空会社の予約・発券、各国査証取得はもちろん、現地到着後のホテルの予約や通訳の手配まで、構築したノウハウを活かして安心・快適なビジネス旅行をご提供します。コスト削減やリスクマネジメントにも対応するBTM (Business Travel Management) などのサービスで、お客様の海外事業展開をサポートします。

まかせて安心。プロの旅。
HBT
 阪急阪神ビジネストラベル

Hanshin Travel International
 阪神トラベル・インターナショナル



訪日外国人旅行

きめ細やかなサービスで訪日旅行をプロデュース

ヨーロッパやシンガポールなどの海外拠点において、新規マーケットの開拓と拡大に取り組んでいます。欧米・東南アジアをはじめ、世界各国から訪日されるお客様にご満足いただけるように、万全の受け入れ体制でお迎えます。





国際輸送事業 International Transportation

グローバルに展開する高品質なサービスと、最適なロジスティクスを提供

国際物流のパイオニアとして、半世紀以上にわたって海外での事業を展開してきた実績とノウハウを活かし、航空・海上による一貫輸送や多国間輸送をプロデュース。通関、保管・管理、物流コンサルティングに至るまで、充実したサービスを展開し、お客様にとって最適なサプライチェーン・マネジメントをサポートします。



国際航空貨物輸送

日本初のIATA航空貨物取扱代理店として、信頼の国際輸送サービスを提供

1948年に日本初の国際航空運送協会 (IATA) 認可の貨物代理店として、国際航空貨物輸送の業務に進出して以来、確固たるブランド力を築き上げてきました。物流の始点から終点まで一貫したサービスで、お客様から厚い信頼をいただいています。28の国と地域に100を超える自社拠点を有し、海外の現地法人や提携代理店も含め、迅速かつ安全なドア・ツー・ドアの国際輸送サービスを提供しています。



国際海上貨物輸送

輸出入を問わず海上貨物輸送を、ドア・ツー・ドアで

外航海運利用事業者 (NVOCC) として、国際航空貨物輸送と同様にグローバルなネットワークを活かした国際海上貨物輸送を行っています。一般コンテナ輸送 [LCL (混載貨物)・FCL (コンテナ扱い貨物)] はもちろんのこと、特殊コンテナ輸送、在来船利用輸送、さらには輸出入通関や物流コンサルティングまで、お客様のニーズに応える最適なサービスをお届けします。



ロジスティクス

物流全体を最適化するソリューションを提案・実現

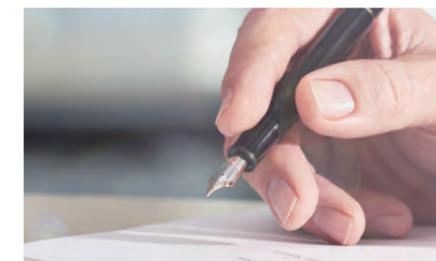
高度な物流コンサルティング能力を備えたエキスパートが、最先端のITを最大限に駆使し、お客様に最適なロジスティクス・ソリューションを提案。高機能倉庫での保管・管理、流通加工、配送など、物流全体を包括的に捉え、国内外において、高品質でスピーディーなオペレーションを実現します。また、2009年には、AEO制度*における「特定保税承認者」に承認されました。



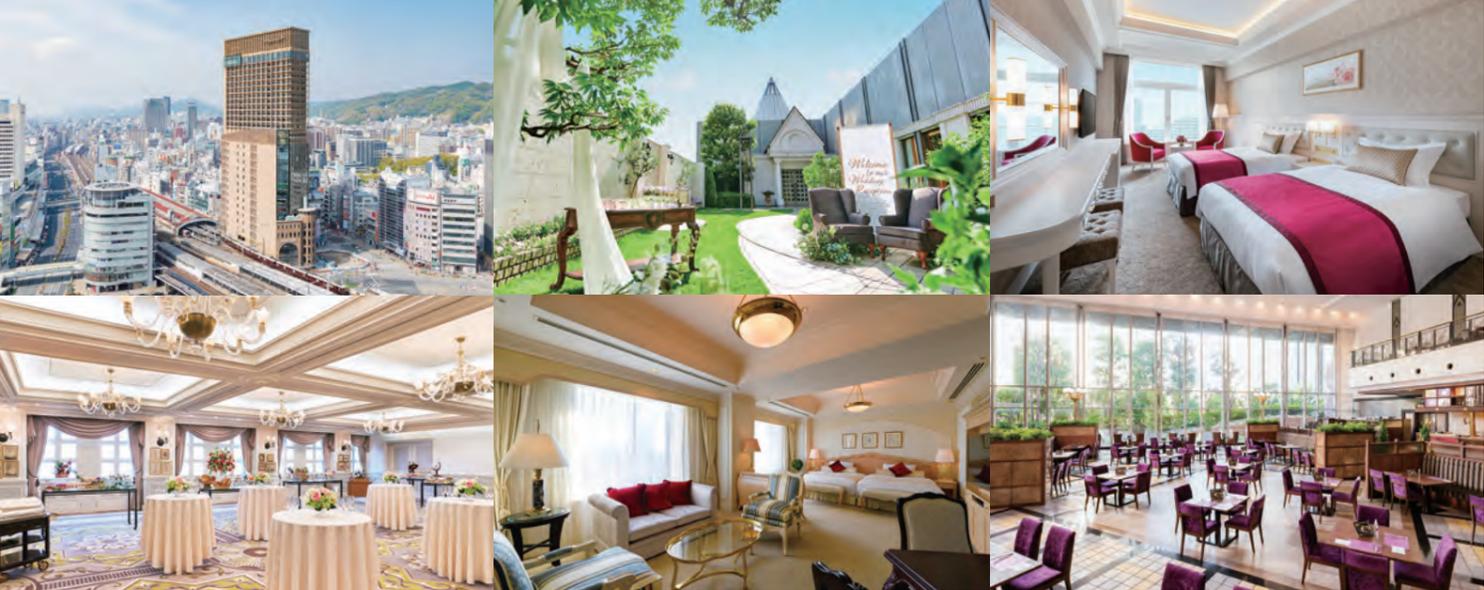
通関業

コンプライアンスに基づく適正・迅速な通関業務

貨物の内容や数量などを代行して税関に申告し許可を得る、貨物の輸出入に不可欠な通関手続きにも精通。全国6税関から通関営業許可を受け、通関士の有資格者を中心としたプロフェッショナル集団がコンプライアンスに基づいた適正・迅速な通関業務を実施しています。2017年には、AEO制度*における「認定通関業者」の認定を取得しました。



*貨物のセキュリティ管理とコンプライアンス体制が整備された事業者に対し、税関手続の緩和・簡素化策を提供する制度



ホテル事業 Hotels

日本屈指のホテルグループを展開

現代人のより良い眠りをデザインする宿泊主体型ホテルから、レストランでの食事や宴会なども楽しめるシティホテル、非日常を満喫できるラグジュアリーホテルまで、お客様の思いに寄り添うホスピタリティーで最高のおもてなしをお届けします。



阪急阪神第一ホテルグループ

90余年の歴史と伝統を礎に チェーンホテルオペレーターとしてネットワークを拡大

東京、大阪をはじめ、東北から九州まで、全49ホテル、総客室数12,000室を超える日本屈指のホテルグループです。ラグジュアリーホテルからビジネスホテル、リゾートホテル、快眠を追求した宿泊主体型ホテル「remm(レム)」まで、幅広いタイプのホテルを展開しています。「remm(レム)」の快適性を向上させた上位ブランド「remm+(レムプラス)」や癒しと活力をもたらす「Hotel Hankyu RESPIRE(ホテル阪急レスパイア)」などさまざまなお客様のニーズに応じていきます。また、チェーンホテルオペレーターとして、長年培ったホテル経営のノウハウを活かし、グループの加盟ホテルを幅広くサポート。ホテルネットワークの拡大と営業力の強化に努めています。



第一ホテル東京

大阪新阪急ホテル



加盟ホテル一覧 (2021年7月1日現在)

近畿	関東	東北	四国
<直営ホテル 12ホテル> 京都新阪急ホテル レム新大阪 ホテル阪急インターナショナル 大阪新阪急ホテル 新阪急ホテルアネックス 梅田OSホテル ホテル阪急レスパイア大阪 ホテル阪神大阪 ホテル阪神アネックス大阪 千里阪急ホテル 宝塚ホテル レムプラス神戸三宮	<直営ホテル 9ホテル> 第一ホテル東京 第一ホテルアネックス レムプラス銀座 レム東京橋 レム日比谷 レム秋葉原 レム六本木 第一ホテル東京シーフォート 吉祥寺第一ホテル	<チェーンホテル 4ホテル> 東京第一ホテル岩沼リゾート ※2021年11月30日営業終了予定 東京第一ホテル鶴岡 東京第一ホテル米沢 ※2021年9月30日営業終了予定 東京第一ホテル新白河	<チェーンホテル 6ホテル> 高松国際ホテル JRホテルクレメント高松 JRホテルクレメント徳島 ザクラウンパレス新阪急高知 東京第一ホテル松山 今治国際ホテル
<チェーンホテル 6ホテル> ホテルポストンプラザ草津(びわ湖) ホテルロイヤルヒル福知山&スパ 天橋立ホテル 大阪第一ホテル ホテルバイガルス(関西空港) 有馬せらり	<チェーンホテル 6ホテル> 銀座クレストン ホテル八重の翠東京 アワーズイン阪急 第一ホテル両国 第一イン池袋 第一イン湘南	中部・北陸 <チェーンホテル 2ホテル> 第一イン新湊 東京第一ホテル錦(名古屋市)	九州 <直営ホテル 1ホテル> レム鹿児島
		中国 <チェーンホテル 3ホテル> ロイヤルパークホテル倉敷 ホテル一畑 呉阪急ホテル	

ザ・リッツ・カールトン大阪

“もうひとつの我が家”のように落ち着いた雰囲気と 心温まるサービスでお客様をお迎え

阪急阪神第一ホテルグループ以外にも、ラグジュアリーホテルである「ザ・リッツ・カールトン大阪」を経営。米国に本拠を置くザ・リッツ・カールトンの日本における初のホテルとして、開業以来、高い評価を得ています。時代を超えたクラシカルな空間、そして心のこもったおもてなしとサービスで、お客様にユニークで思い出に残るパーソナルな体験を提供します。



レストラン ラ・ベ

阪急阪神ホールディングス グループ一覧

(2021年7月1日現在)

阪急阪神ホールディングス株式会社
Hankyu Hanshin Holdings, Inc

会社創立	1907年(明治40年)10月19日
登記上本店	〒563-0056 大阪府池田市栄町1番1号
本社事務所	〒530-0012 大阪市北区芝田1丁目16番1号
人事総務室 東京統括部	〒100-0006 東京都千代田区有楽町1丁目2番2号 東宝日比谷ビル17階
資本金	994億74百万円

中核会社

- ・ 阪急電鉄(株)
- ・ 阪神電気鉄道(株)
- ・ 阪急阪神不動産(株)
- ・ (株)阪急交通社
- ・ (株)阪急阪神エクスプレス
- ・ (株)阪急阪神ホテルズ

都市交通事業

- ・ アルナ車両(株)
- ・ (株)いいなダイニング
- ・ 池田エルピーガス(株)
- ・ (株)エキ・リテール・サービス阪急阪神
- ・ 大阪空港交通(株)
- ・ 大阪阪神タクシー(株)
- ・ (株)オムテック
- ・ 北大阪急行電鉄(株)
- ・ 神戸高速鉄道(株)
- ・ 丹後海陸交通(株)
- ・ 西大阪高速鉄道(株)
- ・ 西山ドライブウェイ(株)
- ・ 能勢電鉄(株)
- ・ (株)ハックス阪神
- ・ 阪急観光バス(株)
- ・ 阪急通勤バス管理(株)
- ・ (株)阪急スタイルレーベルズ
- ・ 阪急設計コンサルタント(株)
- ・ 阪急タクシー(株)
- ・ (株)阪急ドライブングスクール服部緑地
- ・ 阪急バス(株)
- ・ (株)阪急阪神エムテック
- ・ (株)阪急阪神電気システム
- ・ (株)阪急レールウェイサービス
- ・ 阪神車両メンテナンス(株)
- ・ (株)阪神ステーションネット
- ・ 阪神タクシー(株)
- ・ 阪神バス(株)
- ・ リッツ(株)
- ・ (株)レールウェイオペレーション阪急
- ・ HK電気工業(株)

不動産事業

- ・ アドバンス開発(株)
- ・ (株)梅田センタービル
- ・ 大阪ダイヤモンド地下街(株)
- ・ (株)キョウトウ
- ・ 千里朝日阪急ビル管理(株)
- ・ (株)阪急仁川スポーツガーデン
- ・ 阪急阪神エステート・サービス(株)
- ・ 阪急阪神クリーンサービス(株)
- ・ 阪急阪神ハイセキュリティサービス(株)
- ・ (株)阪急阪神ハウジングサポート
- ・ 阪急阪神ビルマネジメント(株)
- ・ 阪急阪神不動産投資顧問(株)
- ・ 阪急阪神リート投信(株)
- 〈海外現地法人〉
- ・ HANKYU HANSHIN PROPERTIES SINGAPORE PTE. LTD.
- 〈その他の団体〉
- ・ 公益財団法人 都市活力研究所
- ・ 医療法人 阪急共栄会
- ・ HANKYU HANSHIN PROPERTIES (THAILAND)CO., LTD.
- ・ HANKYU HANSHIN PROPERTIES VIETNAM CO., LTD.

エンタテインメント事業

- ・ (株)ウエルネス阪神
- ・ (株)梅田芸術劇場
- ・ (株)宝塚クリエイティブアーツ
- ・ (株)宝塚舞台
- ・ (株)タカラヅカ・ライブ・ネクスト
- ・ (株)阪神コンテンツリンク
- ・ (株)阪神タイガース
- ・ (株)ピーアンドピー浜松
- ・ 六甲山観光(株)
- 〈その他の団体〉
- ・ 学校法人 宝塚音楽学校
- ・ 宝塚歌劇団

情報・通信事業

- ・ アイテックソフトウェア(株)
- ・ アイテック阪急阪神(株)
- ・ (株)アールワークス
- ・ (株)エフエム・キタ
- ・ (株)システム技研
- ・ (株)日本プロテック
- ・ 阪神ケーブルエンジニアリング(株)
- ・ 姫路ケーブルテレビ(株)
- ・ (株)ベイ・コミュニケーションズ
- ・ (株)ミマモルメ
- ・ ユミルリンク(株)
- ・ BAN-BANネットワークス(株)

旅行事業

- ・ (株)エアサーブ
- ・ (株)たびこふれ
- ・ (株)日経カルチャー
- ・ (株)阪急トラベルサポート
- ・ (株)阪急阪神ビジネスラベル
- ・ 阪神トラベル・インターナショナル(株)
- ・ (株)ホップス
- 〈海外現地法人〉
- ・ 阪急国際旅行社(中国)有限公司(HANKYU INTERNATIONAL CHINA CO., LTD.)
- ・ HANKYU TRAVEL INTERNATIONAL EUROPE S. R. L.
- ・ HANKYU TRAVEL INTERNATIONAL EUROPE UK LTD.
- ・ HANKYU TRAVEL INTERNATIONAL SINGAPORE PTE. LTD.

国際輸送事業

- ・ (株)阪急阪神ロジパートナーズ
- 〈海外現地法人〉
- ・ HANKYU HANSHIN EXPRESS(USA)INC.
- ・ HANKYU HANSHIN EXPRESS MEXICO S.A. DE C.V.
- ・ HANKYU HANSHIN EXPRESS(DEUTSCHLAND)GMBH
- ・ HANKYU HANSHIN EXPRESS(NETHERLANDS)B.V.
- ・ HANKYU HANSHIN EXPRESS(UK)LIMITED
- ・ INTRASPEED SOUTH AFRICA (PTY)LTD.
- ・ INTRASPEED ARCPRO (KENYA)LIMITED
- ・ INTRASPEED EAST AFRICA LIMITED
- ・ HANKYU HANSHIN EXPRESS(BEIJING)CO., LTD.
- ・ HANKYU HANSHIN INTERNATIONAL LOGISTICS (SHANGHAI)CO., LTD.
- ・ HANKYU HANSHIN EXPRESS(SHANGHAI)CO., LTD.
- ・ HANKYU HANSHIN EXPRESS(GUANGZHOU)LIMITED
- ・ HANKYU HANSHIN EXPRESS(HK)LIMITED
- ・ HANKYU HANSHIN EXPRESS(TAIWAN)LTD.
- ・ HANKYU HANSHIN EXPRESS(KOREA)CO., LTD.
- ・ HANKYU HANSHIN EXPRESS SOUTHEAST ASIA PTE. LTD.
- ・ HANKYU HANSHIN EXPRESS(SINGAPORE)PTE. LTD.
- ・ HANKYU HANSHIN EXPRESS(THAILAND)CO., LTD.
- ・ HANKYU HANSHIN EXPRESS(MALAYSIA)SDN. BHD.
- ・ HANKYU LOGISTICS(M)SDN. BHD.
- ・ HANKYU HANSHIN EXPRESS PHILIPPINES, INC.
- ・ HANKYU HANSHIN LOGISTICS PHILIPPINES INC.
- ・ HANKYU CUSTOMS BROKERAGE INC.
- ・ PT. HANKYU HANSHIN EXPRESS INDONESIA
- ・ PT. HANKYU HANSHIN LOGISTICS INDONESIA
- ・ HANKYU HANSHIN EXPRESS(VIETNAM)CO., LTD.
- ・ HANKYU HANSHIN EXPRESS INDIA PRIVATE LIMITED
- ・ HANKYU HANSHIN EXPRESS(MYANMAR)CO., LTD.
- ・ HOT Logistics Co., Ltd.
- 〈海外駐在員事務所〉
- ・ MILANO OFFICE
- ・ DUBAI OFFICE
- ・ MOSCOW OFFICE
- ・ PHNOM PENH OFFICE

ホテル事業

- ・ (株)天橋立ホテル
- ・ (株)有馬ビューホテル
- ・ (株)呉阪急ホテル
- ・ 京浜サービス(株)
- ・ 第一ホテルサービス(株)
- ・ (株)阪神ホテルシステムズ

その他の事業

- ・ (株)あしすと阪急阪神
- ・ (株)いきいきライフ阪急阪神
- ・ オーエス(株)
- ・ 関西テレビ放送(株)
- ・ 神戸電鉄(株)
- ・ (株)ステーションネットワーク関西
- ・ 中央電設(株)
- ・ (株)東京楽天地
- ・ (株)鳥取砂丘会館
- ・ 阪急コンストラクション・マネジメント(株)
- ・ 阪急産業(株)
- ・ (株)阪急阪神カード
- ・ (株)阪急阪神ビジネスアソシエイト
- ・ (株)阪急阪神フィナンシャルサポート
- ・ 阪急阪神保険サービス(株)
- ・ (株)阪急阪神ポイント
- ・ 阪急阪神マーケティングソリューションズ(株)
- ・ (株)阪急メディアックス
- ・ 阪神園芸(株)
- ・ (株)ハンシン建設
- ・ (株)ライフデザイン阪急阪神
- 〈その他の団体〉
- ・ 公益財団法人 阪急文化財団

阪急阪神東宝グループ(2021年3月31日現在)

阪急阪神東宝グループは、当社グループ、阪急百貨店と阪神百貨店を核に百貨店事業をはじめとする小売関連事業を展開するエイチ・ツー・オー リテイリンググループ、映画製作・配給・興行を中心に事業を展開する東宝グループから構成される企業グループです。

グループ会社数	198社5団体
グループ従業員数	35,480人
グループ売上高	1兆5,000億円

